



高砂青松 Rotary Club

The Rotary Club of Takasago Seisho, Japan



宮本 一 ガバナーが公式訪問される

国際ロータリークラブ第2680地区 宮本 一 ガバナー



本誌は、職場や家庭に持ち帰って、皆様と一緒に読み下さい。



President

会長の時間



例会のはじめにご紹介させて頂きましたが、本日は国際ロータリー第2680地区の宮本一ガバナーの公式訪問でございます。

午前中には、会長・幹事懇談会がございまして、当クラブからは正副会長・幹事が出席させて頂き、随行者の中 俊介様を交えて協議をさせて頂きました。協議の内容につきましては、後日ご報告させて頂きたいと思っております。

皆さんは、ガバナーのアドレスを待ち望んでおられることと思しますので、会長の時間は早々に切り上げさせて頂きます。

鹿間会長よりガバナーへお土産渡される



鹿間会長お礼の言葉



花を飾ろう



プログラム予定

11月5日(水)	11月12日(水)	11月19日(水)	11月26日(水)
卓話 鹿間 虹美 会員 【ロータリー財団委員会担当】	卓話 志方 正昭 会員	卓話 大橋 卓司 会員	卓話 田中 申明 会員



Donation ニコニコ報告

宮本 一 ガバナー

高砂青松R.C.の皆様，本日は公式訪問をさせていただきます。どうぞよろしく。

鹿間 行雄

宮本ガバナー，随行者の中様，ようこそいらっしゃいました。ご指導ありがとうございます。今後共よろしくお願い申し上げます。

岡本 崇司・竹原 俊三

宮本ガバナーの公式訪問を祝して。

大森 千里

宮本ガバナーの公式訪問を迎えて。
宮本 一 ガバナーとは産婦人科医の仲間として

いつもお世話になっています。
本日の公式訪問有難うございます。

庄司 武・嶋谷 拓雄・内海 薫
小林 久夫・志野木 貞夫・原田 義之
大橋 卓司・西田 光衛・佐野 栄作
矢野 聡・森脇 祥文・井野 隆弘
渡辺 弥生・植杉 成一郎

本日，宮本ガバナーをお迎えして。

田中 浩行・田水 敬雄・澤田 孝彦
柿木 國夫・都倉 達殊・栗原 康高
増田耕太郎・志方 正昭

本日のガバナー公式訪問，宮本ガバナーをお迎えして。

廣瀬 明正

いつもお世話になります。中俊介様，本日は随行ご苦労様です。



Secretary 幹事報告

第15回 通算1379回

1. 地区大会のご案内が届いております。
2. 国際ロータリー理事指名委員会より報告が届いております。
3. 国際大会ご案内DVDが届いております。
4. 回覧その他
ロータリーレートが11月より1ドル=100円で換算します。
国際ロータリー第2680地区よりインターアクト次期リーダー講習会のご案内が届いております。

国際ロータリー第2680地区ガバナー事務所より「ロータリーの1億ドルのチャレンジ」募金についてアイデア集が届いております。

国際ソロプチミスト加古川より第26回チャリティーバザーのご案内が届いております。12月2日(火)10:00~15:00
高砂市学校保健会より第48回高砂市学校保健大会開催のご案内が届いております。11月20日(木)13:30~16:00
東播磨地区薬物乱用防止指導員協議会より麻薬・覚せい剤乱用防止運動キャンペーンのお知らせが届いております。
ザ・ロータリアン誌が届いております。



Neighbor-club information 近隣クラブINFORMATION

クラブ名	変更内容	日時・場所
明石南ロータリークラブ	移動例会	11/28(火) 11/29(水) 於:I.M. ホテルキャッスルプラザ
加古川平成ロータリークラブ	紅葉狩親睦旅行のため	11/19(水) 11/16(日)
加古川ロータリークラブ	会員旅行のため	11/11(火) 11/8~9(土~日)
姫路中央ロータリークラブ	姫路R.C.との交流例会のため	11/16(木)
〃	献血例会のため	11/27(木)

例会記録 2008. 10. 29 (水) 通算1455回

ソング

「我等の生業」「歓迎歌」

四つのテスト

増強・職業分類委員長 都倉達殊

本日のゲスト

国際ロータリークラブ第2680地区ガバナー 宮本 一様
随員 芦屋R.C. 中 俊介様



来訪ロータリー
アン報告

井本 雅也 様(高砂R.C.) 埋田 悦造 様(高砂R.C.)
妹尾 敏昭 様(高砂R.C.)

出席報告

10月22日 会員数 52名 欠席者 9名 出席率 82.69% <修正による>
(この内出席免除者9名)
10月29日 会員数 52名 欠席者 12名 出席率 76.92%
(この内出席免除者9名)

播磨ゆかりの偉人伝 ⑮

黒田 官兵衛 (くろだ・かんべえ) 希代の軍師

「もし生まれてくるのがもう少し早かったら、天下はこの人が取っただろう」
そういわれているのが今回登場の黒田官兵衛である。戦国時代、秀吉の名参謀として戦略的手腕をいかんなく発揮。大胆な発想と行動で「希代の軍師」と呼ばれている。

名は孝高(よしたか)。祖父の代に備前福岡(現岡山県船町)から播磨入り。天文15(1546)年、父が城主だった姫路城で生まれた。

官兵衛が家督を継ぎ、姫路城主になったのは22歳のとき。やがて、天下統一への道を削る織田と毛利の2大勢力のどちらにつくか。その二者択一を迫られることになる。そこで官兵衛が織田を選んだのは、持ち前の知力を働かせた結果なのだろう。



信長から毛利征伐を命じられ、播磨入りした秀吉に官兵衛は自らの姫路城をなんと無償で献上。秀吉軍団の参謀の地位を不動のものにした。毛利政略の初戦の備中(岡山県西部)高松城への「水攻め」作戦は官兵衛の提案だった。

そんな折り、「明智光秀謀反、信長死す」の知らせが入ってくる。いわゆる「本能寺の変」である。動揺する秀吉に官兵衛は、その耳元でささやいた。「これぞ、天下取りの好機ですぞ」。この進言で秀吉は「中国大返し」を取行。「山崎合戦」で明智光秀軍を破り、天下取りを決定的なものにした。

主君への数々の貢献。そんな官兵衛を、しかし秀吉は冷遇した。あまりにも頭が切れすぎる官兵衛に恐れを抱いたからである。それが証拠に「わしが死んだあと天下を取るのには官兵衛じゃ」と言ったと伝えられている。

そのことを敏感に察した官兵衛は家督を息子の長政に譲り、名を黒田如水軒と改めた。播磨を離れ、豊前国(大分県)中津城主から、筑前(福岡県)入り。黒田藩52万石の始祖となった。以後、明治までの約270年間、黒田家が福岡を治めた。

官兵衛は仏教者でありキリシタンでもあった。また、戦国の多くの武将が複数の妻妾を抱えた時代に生涯側室を置かず、幸園ただ一人を妻としたことで知られている。

(主な参考文献=中元孝迪・著「姫路城永遠の天守閣」神戸新聞総合出版センター)

会長 鹿間行雄 幹事 岡本崇司 クラブ会報委員長 菊地敬子

例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室(2F)

事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話 (079) 443-0500(代)